

2010年10月14日

報道関係各位

中部学院大学
通信教育部

通信教育部の学生の不安を解消する

「顔の見える通信教育」を目指したEラーニング運用開始

中部学院大学通信教育部ではこのたび、Eラーニングシステム（愛称“チューナビ”）の構築が完了し、9月末から正式に運用を開始しました。同システムは2006年から検討が進められ、学生のニーズを取り入れたオリジナルのシステムです。

Eラーニングシステムでは、通信教育の学習において、「学生の孤独感の解消」「退学率の抑制」「卒業率の向上」「教育の質の確保」などの課題に対応しています。具体的には、学習支援として、学習の進捗の確認、スクーリング受講計画の作成を行えるページを開設したほか、大学のお知らせなど情報提供の手段として「つながるツール」、学生同士が気軽にコミュニケーションを図ったり、質問票を送信できる掲示板機能を盛り込んだ「学生サロン」などがあります。

本学の特色として、パソコンに不慣れな学生でも対応できるように簡素化し、アバター機能を取り入れ、手帳形式で分かりやすく見られるような工夫がされています。

■ システム概要（詳細は別紙参考資料にて）

[学習支援]

- 学習プラン （目的）履修登録科目選択やスクーリング受講計画作成の支援
学生が各自の状況に応じたプランニング
- 学習進捗 （目的）学生の利便性の向上
提出課題の合否状況や科目の単位修得状況などを随時確認

[交流支援]

- つながるツール （目的）学生に対する情報提供の手段の充実
大学から学生へのお知らせの掲載など
- 学生サロン （目的）学生の孤独感の解消
学生同士のコミュニケーションサイト
学習上の質問や事務手続きに関する質問を送信できる質問票機能

[その他]

- 資料ファイル （目的）学生サービスの向上、紙媒体の資料削減（紙資源の節約）
印刷物を電子化、整理して提供

■ 学生サロン（書き込み例）

- ・ 国家試験対策で読みやすい、分かりやすいテキストを紹介します。
- ・ オープン学習会で、課題提出やなどに悩んでいる人、意見交換しませんか。
- ・ 初めてのスクーリングが始まりました。明日も頑張るぞ！
- ・ 第1回提出課題が再提出になりましたが、いつ送ったらいいですか。
- ・ スクーリングっていいですね。みんな頑張っていて、刺激を受け、励みにもなります。

■ 利用者 通信教育部学生（1000人前後）、通信教育部卒業生

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 通信教育部（担当：菊池） TEL:0575-24-2287（直通） E-mail:kikuchi@chubu-gu.ac.jp